

調査速報

# メキシコ自動車市場月次統計（2017年5月）

内需減速で生産の増勢鈍化が続く。米中古車市況の悪化に伴うメキシコの中古車輸入増加は同国の新車需要の逆風に

主任研究員  
深尾 三四郎  
045-225-2375  
fukao@yokohama-ri.co.jp

要約

- 5月メキシコ自動車生産台数（季調値）は前月比1.2%減の年率372万台と2か月連続の減少。
- 販売台数（季調値）が前月比7.7%減と大きく減少。輸出は堅調だが米新車市場の失速が今後重しに。
- 中古車輸入が増加基調に。米国中古車市況の悪化に伴うメキシコへの中古車流入増は新車需要に逆風。

メキシコ中古車輸入台数の季節調整値は2017年に入ってから増加基調が続く

メキシコ自動車工業会（Asociación Mexicana de la Industria Automotriz: AMIA）が発表した2017年5月の総生産台数は、前年同月比17.3%増と12か月連続で前年超えしたが、季節調整済年率換算値（当社試算、以下SAAR）は前月比1.2%減の372万台と2か月連続で減少した（図表1）。内需減少が減産の背景にある。

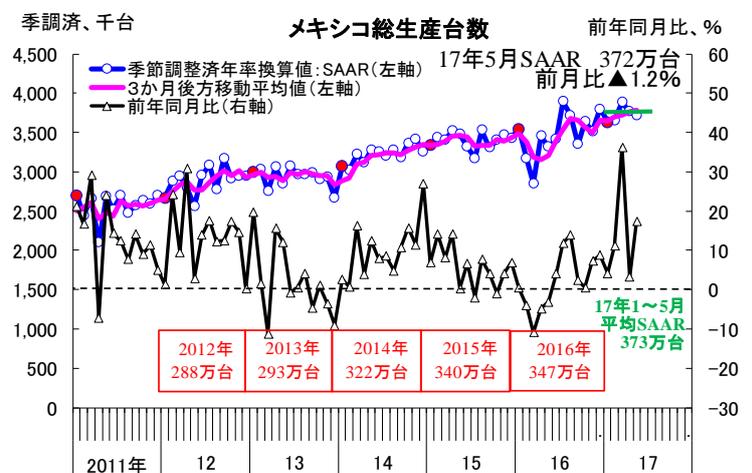
輸出は引き続き堅調である。5月の総輸出台数は前年同月比13.9%増となり、輸出台数のSAARは前月比2.4%増の304万台となった（図表2）。しかし、引き続き、主要輸出先の米国で足元の新車販売が失速していることから、今後メキシコの自動車輸出に逆風が吹く可能性が高く、先行きについて楽観視することは難しい。米国の5月の新車販売台数（SAAR）は前月比0.8%増の1,660万台（弊社試算）と増加したが、3か月後方移動平均値でみるトレンドは下落基調が続いている（図表3）。

一方、5月のメキシコ国内販売は失速した。メキシコの5月の総販売台数は前年同月比1.1%減と36か月ぶりに前年割れとなった4月から再びプラスに転じたが、SAARは前月比7.7%減の153万台と減少した（図表4）。国内販売のSAARの17年1～5月平均は157万台と、前年実績160万台を下回る水準であり、内需はいよいよ頭打ちの状況となっている。

国内新車市場への逆風となる、中古車輸入台数が足元で盛り返している。メキシコ経済省貿易統計検索サイト（Sistema de Información Arancelaria Vía Internet: SIAVI）では本年3月までの同国貿易統計が公開されているが、同統計データを基に弊社が試算した中古車輸入台数のSAARは3月に前月比35.1%増の17.8万台へと急増した。3か月移動平均値でみたトレンドを見ると、メキシコ中古車輸入台数は本年1月から増加基調が続いている（図表5）。メキシコへ中古車を輸出する最大の市場は米国であるが、同国中古車市況の悪化がメキシコへの中古車輸出の増加に繋がり、メキシコ新車市場に逆風となる可能性があるため、今後、メキシコ中古車輸入の増勢が続くかどうかには要注意である。

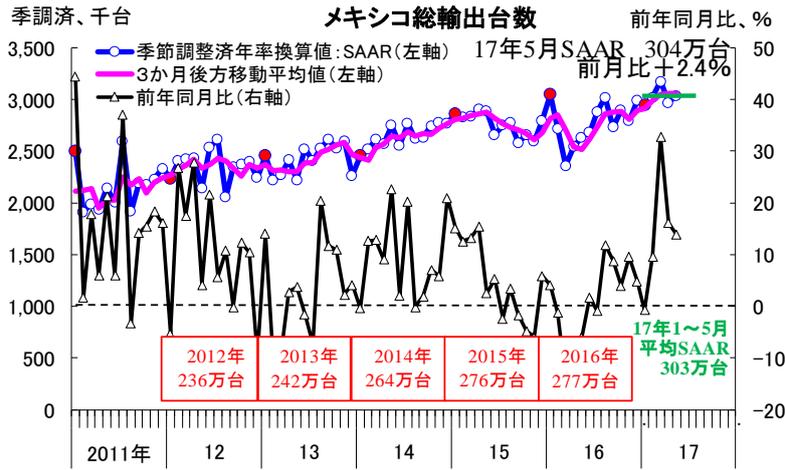
これまで長く続いた内需拡大が転換しつつある上に、米国向け輸出減少のリスクが高いことから、メキシコ自動車生産に対する下方圧力が強まるという見通しに変更はなく、同国自動車市場の見通しを楽観することは禁物である。

図表1 5月生産台数（SAAR）は2か月連続の減少



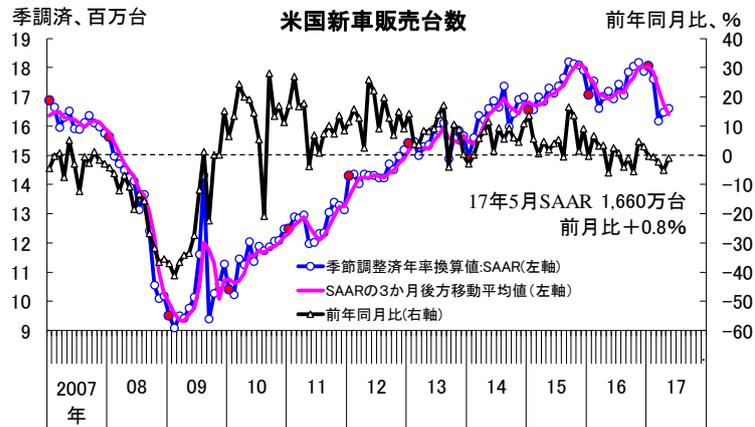
注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。  
注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。  
出所: メキシコ自動車工業会(AMIA)のデータを基に作成

図表2 5月輸出台数 (SAAR) が前月比増加



注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。  
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。  
 出所: メキシコ自動車工業会 (AMIA) のデータを基に作成

図表3 米国新車販売の減少基調が続く



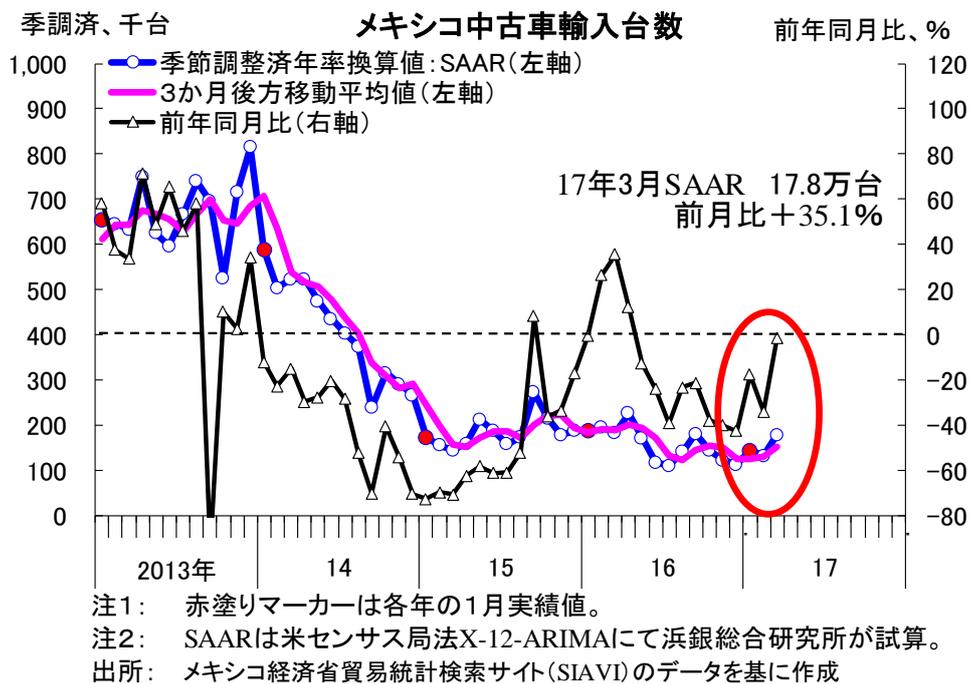
注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。  
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。  
 出所: Autodata及びBloombergのデータより作成

図表4 5月メキシコ国内販売 (SAAR) は前月比大幅減



注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。  
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。  
 出所: メキシコ自動車工業会 (AMIA) のデータを基に作成

図表5 5月メキシコ中古車輸入台数（SAAR）は増加基調



本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。